

創薬人育成サマースクール2020

令和2年7月11日(土)

東北大学青葉山キャンパス
—薬学研究科大講義室—

製薬現場の第一線研究リーダーが語る創薬研究
対象: 創薬研究者を目指す大学院生相当

13:00–14:20 田中 正浩 氏 (JT)

「創薬研究における計算機化学」 ～基礎から最先端まで～

創薬研究における計算機化学の果たす役割は年々大きくなっており、近年では人工知能(AI)を駆使した取り組みも加速度的に進展しています。本講演では医薬品候補化合物設計の観点で歴史的背景を含めた計算機化学概論から最先端の国内外の取り組みや成功事例までを論文報告中心に紹介していただき、メディシナルケミストの視点から創薬効率を高めるためにAIを含む最先端技術をいかに創薬研究プロセスに取り入れるかについてもお話いただきます。

14:40–16:00 永田 勉 氏 (第一三共株式会社)

「選択的活性化血液凝固第X因子阻害薬エドキサバンの創製」
～抗凝固活性と経口吸収性の両立を目指して～

活性化血液凝固第十因子(FXa)を直接選択的に阻害するDX-9065aの世界初の開発に成功したものの、経口吸収性が十分でなかったため、独自のデザインや様々な合成展開を実施して経口薬としての資質を磨き上げ、理想的なプロファイルを示すエドキサバンの獲得に成功されました。本講演では、2011年7月に上市されたエドキサバンの創製について紹介していただきます。

企業人が多くのメッセージを直接学生に
伝えることで創薬研究の重要性とその
魅力を知ってもらいたい。

<http://medchem.pod.ne.jp>

連絡先

〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学薬学研究科

土井隆行

TEL 022-795-6865